



# 第13期(2012年3月期) 第2四半期決算説明会

2011/11/21

**modulat**

モジュレ株式会社 ( JASDAQグロース : 3043 )

<http://www.modulat.com/>

# 目次

◇ 2012年03月期・第2四半期の総括	・・・ 3p
◇ 2012年03月期の見通し	・・・ 4p
◇ 財務諸表:損益計算書	・・・ 5p
◇ 財務諸表:貸借対照表	・・・ 6p
◇ 財務諸表:キャッシュフロー計算書	・・・ 7p
◇ 売上高の推移	・・・ 8p
◇ 売上総損益の推移	・・・ 9p
◇ 営業損益の推移	・・・10p
◇ 当期純損益の推移	・・・11p
◇ その他指標の推移	・・・12p
◇ 中期経営計画(2011年5月17日公表)	・・・13p
◇ 中期経営計画の現況	・・・14p
◇ お問い合わせ	・・・15p

# 2012年03月期・第2四半期の総括

## 業績予想を修正、利益が期首予想を上回る

厳しい経済環境が続くなか、本業集中によりITサービスが順調に売上・利益を計上。商品販売も比較的堅調に推移。「コスト適正化計画」の効果等もあり、期首予想を上回る。期末予想は様々な不確定要素を考慮して据置き。

## ITサービスは順調、継続サービス契約額も増加

本業(継続的ITサービス)への集中により、ITサービスは前年同期比で売上高26.9%増、総利益26.5%増を計上。ITサービスの構成比は、売上高で約80%、売上総利益で約88%と順調に推移。年間継続契約額は着実に増加傾向。

## 当社株式の上場維持について

10月下旬より、大阪証券取引所による内部管理体制についての審査が開始。更なるコンプライアンス及び内部管理体制の強化を継続し、上場企業の責任を果たす。

# 2012年03月期の見通し

## 堅実な収益構造を強化、将来への布石も

景気の先行きは不透明ながら、現在の堅実な収益基盤をより強化し続ける。その上で、新サービス等への投資も再開し、今後10年を見据えた新しいサービス、次世代の人材育成など将来への布石を打つ。

## 継続ITサービスへの特化！特化！特化！

競争力を維持している継続ITサービス契約の長期化、安定化、大型化に挑戦し続ける。特にお客様企業が今後求める新しいITサービスに積極的に取り組む計画。又、過去のITサービス投資がキャッシュフロー面でも収穫時期に入る。

## 迅速かつ安定した経営体制

迅速かつ安定した経営体制を企業DNAとして維持・継続・徹底し続け、上場企業の信頼を業績へ反映させる方向へ。内部監査及び内部統制監査もより厳正に強化。又、シンプルな資本構造・業務構造は可能な限り維持し、早期の復配を目指す。

# 財務諸表：損益計算書

## 第2四半期累計期間

	10/09期		11/09期	
	実績	対前年比	実績	対前年比
<b>売上高</b>	<b>582</b>	--	<b>668</b>	114.9%
ITサービス	419	--	532	126.9%
商品	162	--	135	83.8%
<b>売上総利益</b>	<b>155</b>	--	<b>188</b>	121.2%
ITサービス	132	--	165	126.5%
商品	23	--	22	96.7%
<b>販管費</b>	<b>121</b>	--	<b>125</b>	103.2%
<b>営業損益</b>	<b>33</b>	--	<b>62</b>	185.9%
<b>経常損益</b>	<b>37</b>	--	<b>62</b>	169.7%
<b>当期純損益</b>	<b>36</b>	--	<b>61</b>	167.5%

\* 10/03期の決算期変更により、10/09期の対前年比は省略しております。

## 通期

(百万円)

	11/03期		12/03期	
	実績	対前年比	予測	対前年比
	<b>1,239</b>	--	<b>1,316</b>	106.2%
	858	--	976	113.8%
	381	--	339	89.0%
	<b>315</b>	--	<b>334</b>	106.0%
	259	--	298	115.1%
	55	--	35	63.6%
	<b>248</b>	--	<b>251</b>	101.2%
	<b>67</b>	--	<b>82</b>	121.7%
	<b>71</b>	--	<b>85</b>	118.2%
	<b>65</b>	--	<b>70</b>	107.5%

\*10/03期の決算期変更により、11/03期の対前年比は省略しております。

- ◆ ITサービスが順調に推移。 厳しい経済環境のなか継続的に増加傾向。
- ◆ コスト適正化計画の効果で、販売管理費は微増にとどまり、利益に貢献。
- ◆ 営業利益、経常利益、当期純利益は、期首予想を上回り順調に推移。

# 財務諸表：貸借対照表

	11/03期		11/09期	
	金額	構成比	金額	構成比
流動資産	298	25.3	398	32.4
現預金	49	4.2	148	12.1
売掛金	100	8.6	86	7.1
たな卸資産*	84	7.1	79	6.5
その他	62	5.4	83	6.8
固定資産	881	74.7	831	67.6
有形固定資産	514	43.6	472	38.5
(減価償却累計額)	-287	—	-329	—
無形固定資産	90	7.7	83	6.8
投資その他の資産	275	23.3	275	22.4
総資産	1,179	100.0	1,229	100.0

\*たな卸資産には、リース投資資産を含む。

(百万円)

	11/03期		11/09期	
	金額	構成比	金額	構成比
流動負債	649	55.1	698	56.8
買掛金	83	7.1	47	3.9
1年内返予長借	226	19.2	268	21.8
前受金	173	14.7	257	21.0
その他	167	14.1	125	10.2
固定負債	317	26.9	255	20.8
負債合計	966	82.0	954	77.6
純資産	212	18.0	275	22.4
資本金・資本剰余金	408	34.6	408	33.2
利益剰余金 他	-195	-16.6	-132	-10.8
負債純資産 合計	1,179	100.0	1,229	100.0

- ◆ 減価償却により固定資産が減少、現預金の増加により流動資産が増加。
- ◆ 前受金の増加等により、流動負債が増加。
- ◆ 四半期純利益の計上により、純資産が増加。

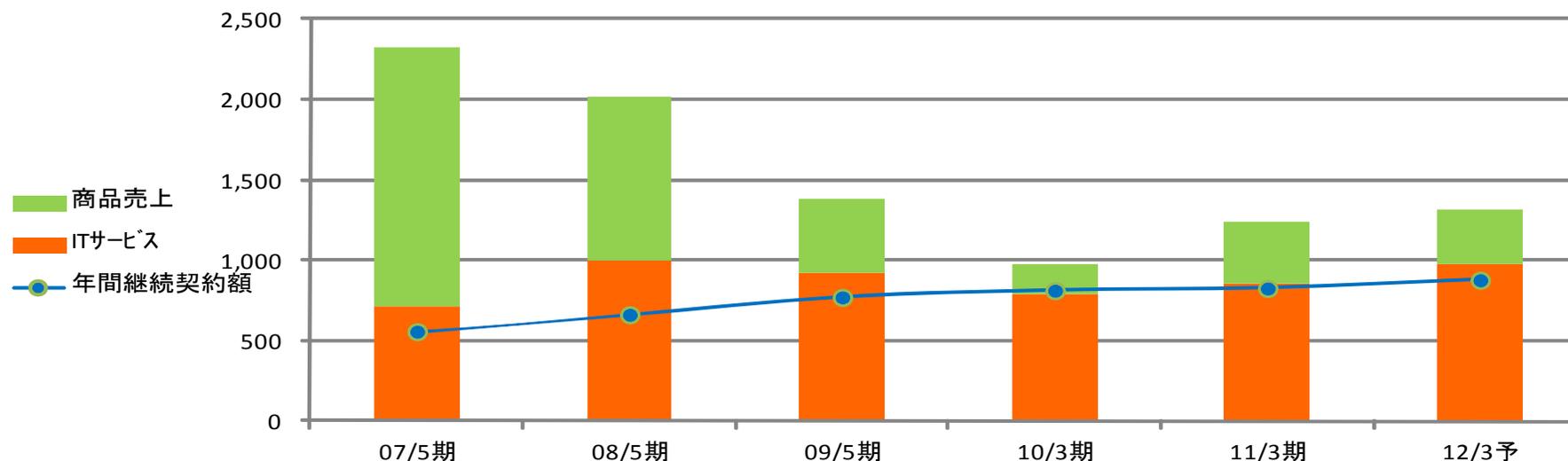
# 財務諸表：キャッシュ・フロー計算書

(百万円)

区 分	10/09期	11/09期
営業キャッシュ・フロー	127	147
投資キャッシュ・フロー	-34	-29
財務キャッシュ・フロー	-91	-19
現金及び現金同等物の期末残高	67	148

- ◆ 営業キャッシュ・フロー : 税引前四半期純利益の計上、前受金の増加等により獲得
- ◆ 投資キャッシュ・フロー : サービス用の有形固定資産取得等により使用。
- ◆ 財務キャッシュ・フロー : 長期借入金の返済による支出等により使用。

# 売上高の推移



(百万円)

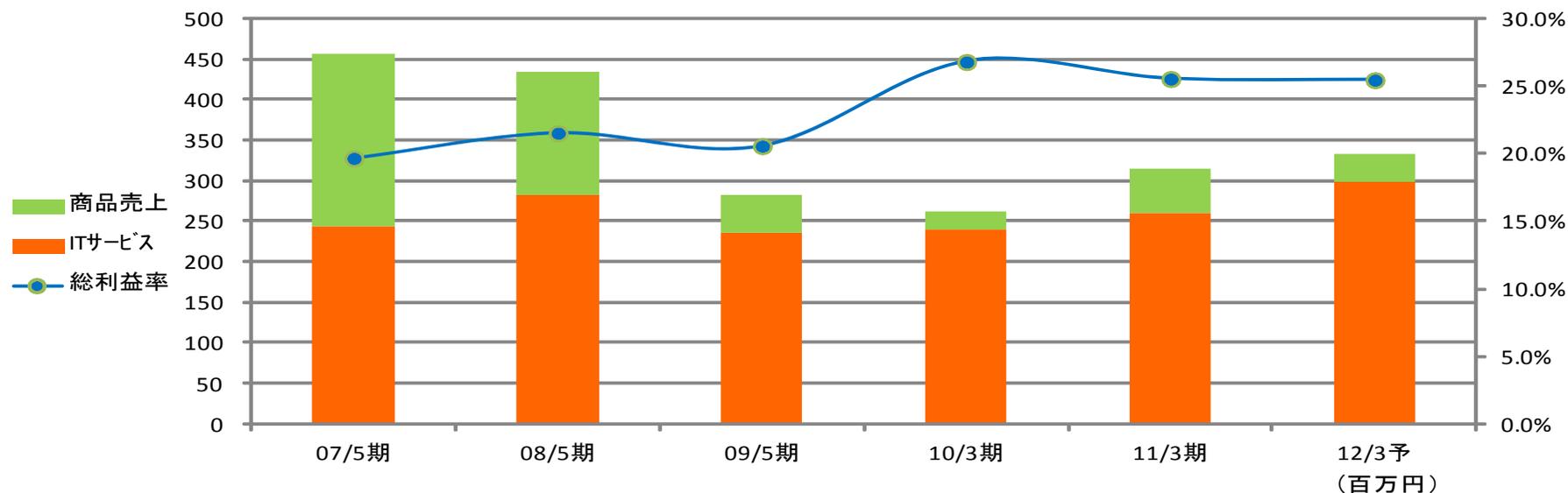
合計	2,330	2,017	1,381	978	1,239	1,316
	07/5期	08/5期	09/5期	10/3期	11/3期	12/3予
ITサービス	710	1,003	917	785	858	976
商品売上	1,620	1,013	463	192	381	339

年間継続契約額 558 663 771 813 827 878

\*10/3期は、決算期変更により10ヶ月決算となっております。

- ◆ ITサービスは堅調に増加計画。商品売上は震災の影響未定で微減計画。
- ◆ 継続ITサービスが堅調に増加し、ITサービスの売上増に貢献。
- ◆ 2Q実績(668百万円)は、期末予測に対し50.8%の進捗率。

# 売上総損益の推移



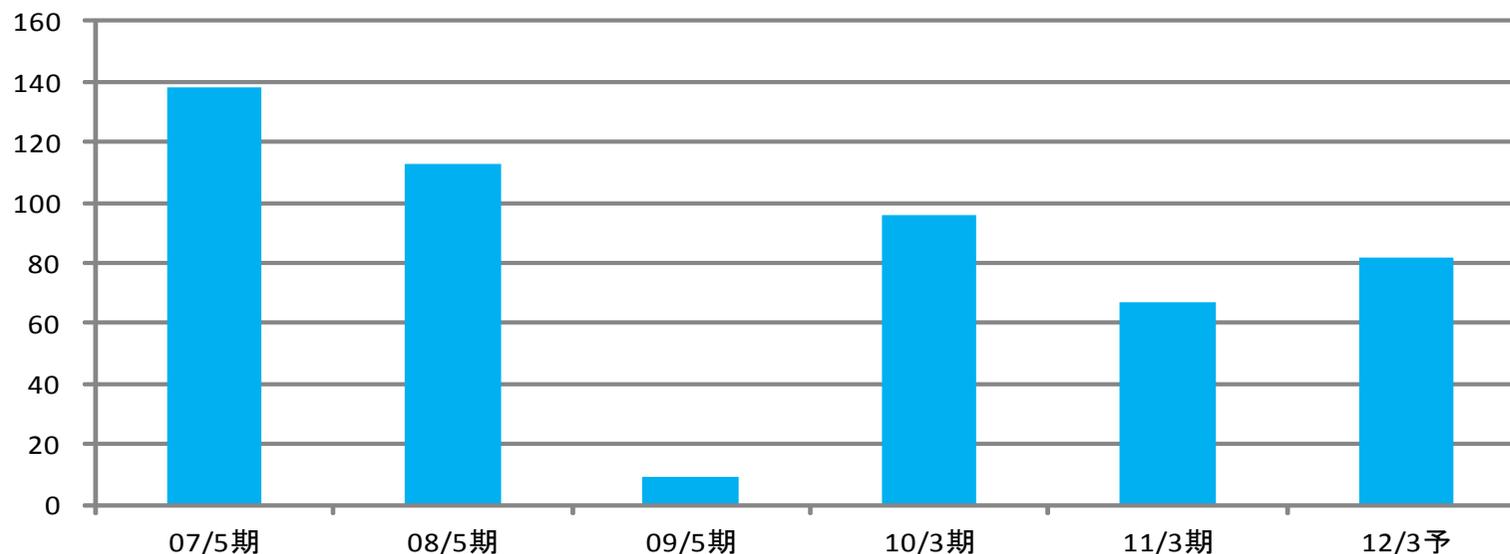
合計	458	434	284	262	315	334
	07/5期	08/5期	09/5期	10/3期	11/3期	12/3予
ITサービス	243	283	235	239	259	298
商品売上	214	151	48	23	55	35
総利益率	19.7%	21.5%	20.6%	26.8%	25.5%	25.4%

\*08/5期、09/5期の数値は、決算訂正後の数値を記載しております。

\*10/3期は、決算期変更により10ヶ月決算となっております。

- ◆ ITサービスは順調に増加計画。総利益率も適正水準を維持。
- ◆ 総利益全体に占めるITサービスの比率が更に向上。
- ◆ 2Q実績(188百万円)は、期末予測に対し56.3%の進捗率。

# 営業損益の推移



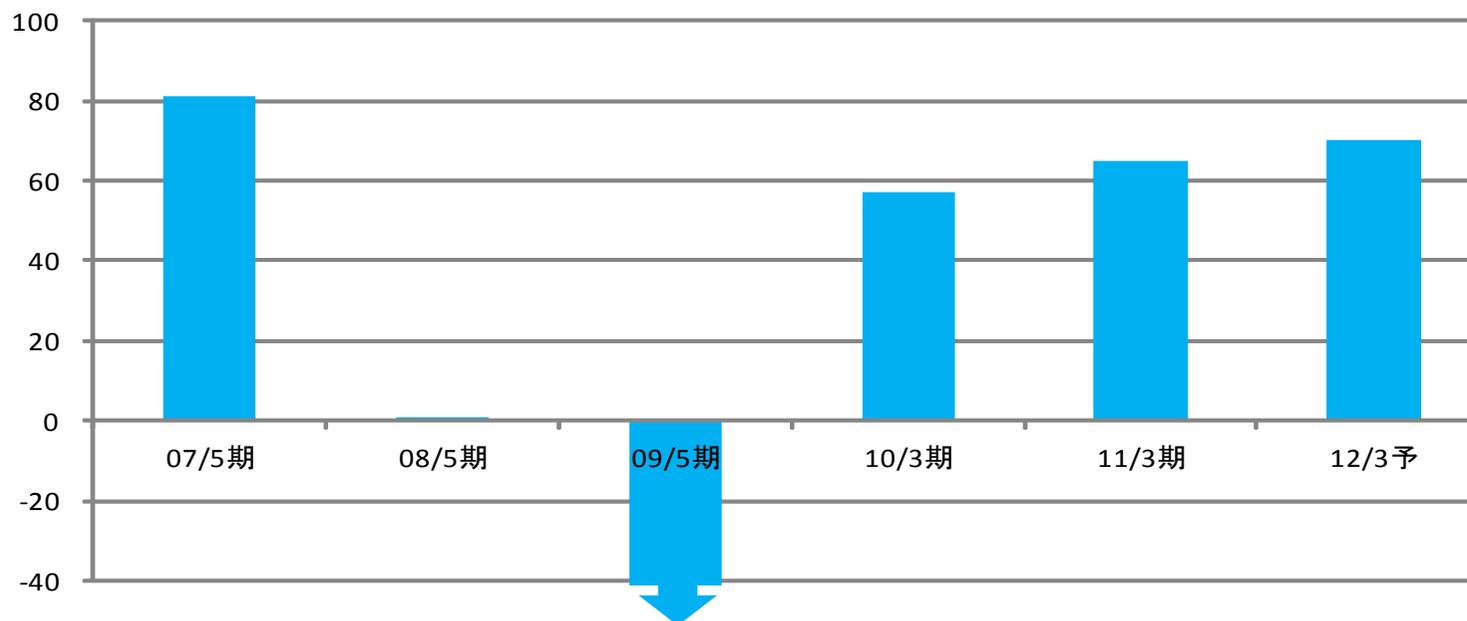
	07/5期	08/5期	09/5期	10/3期	11/3期	12/3予
営業損益	138	113	9	96	67	82
営業利益率	6.0%	5.6%	0.7%	9.8%	5.5%	6.3%

\*08/5期、09/5期の数値は、決算訂正後の数値を記載しております。

\*10/3期は、決算期変更により10ヶ月決算となっております。

- ◆ 新経営体制も寄与し、堅実に増加計画。
- ◆ 堅実な収益構造を継続し、費用増加の抑制により利益率向上。
- ◆ 2Q実績(62百万円)は期末予測に対し76.1%の進捗率。

# 当期純損益の推移



	07/5期	08/5期	09/5期	10/3期	11/3期	12/3予
当期純損益	81	1	-459	57	65	70
純利益率	3.5%	0.1%	—	5.9%	5.3%	5.3%

\*08/5期、09/5期の数値は、決算訂正後の数値を記載しております。

\*10/3期は、決算期変更により10ヶ月決算となっております。

- ◆ 継続して増加計画。
- ◆ 純利益を着実に積み重ねて利益剰余金の増加を図り、復配を目指す。
- ◆ 2Q実績(61百万円)は、期末予測に対し87.9%の進捗率。

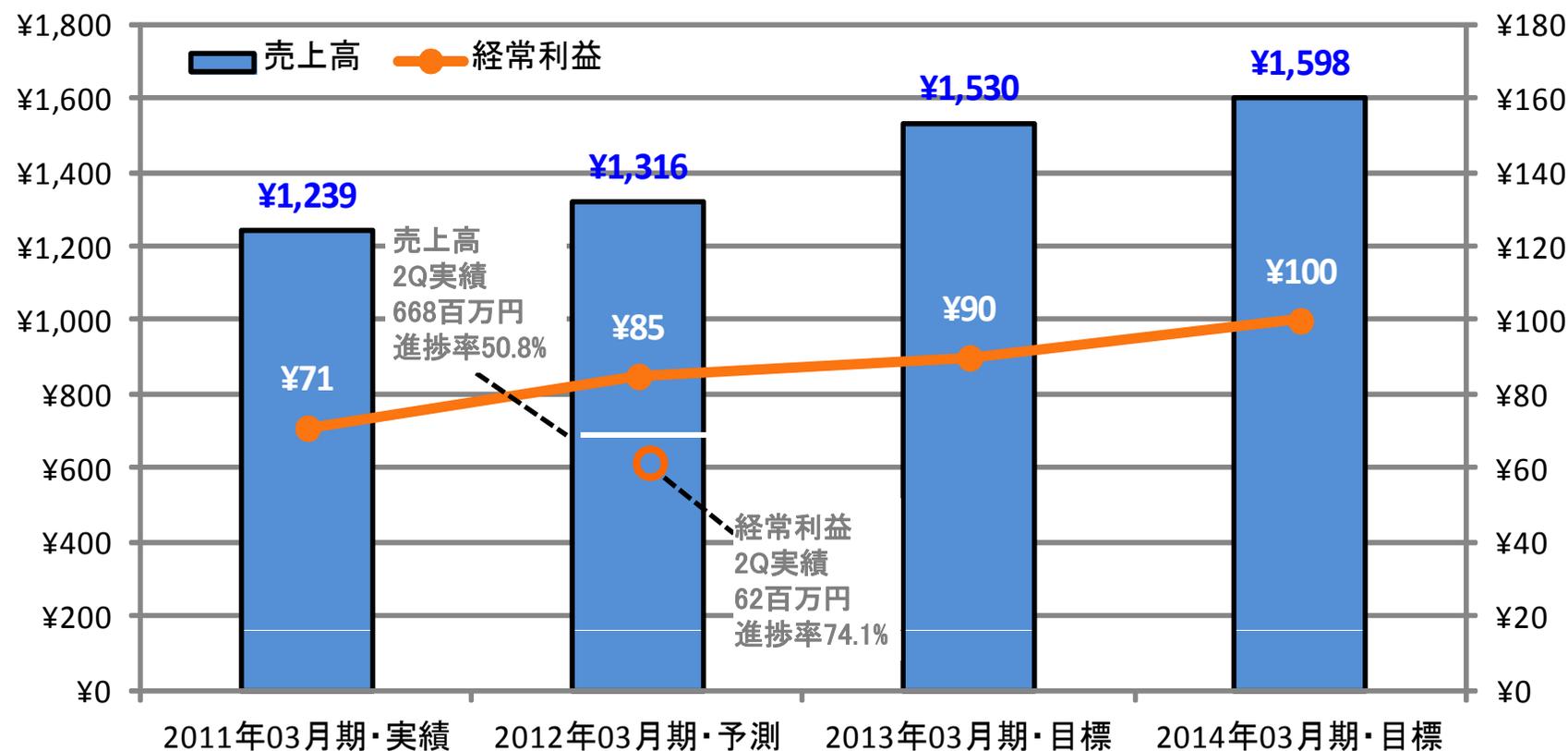
## その他指標の推移

	04/5期	05/5期	06/5期	07/5期	08/5期	09/5期	10/3期	11/3期	11/9期	12/3予
顧客数(社)	28	28	35	51	69	69	67	56	59	60
対前年	21.7%	0.0%	25.0%	45.7%	35.3%	0.0%	-2.9%	-16.4%	5.4%	7.1%
年間継続 契約額(百万円)	217	258	343	558	663	771	813	827	837	878
対前年	--	18.9%	32.9%	62.7%	18.8%	16.3%	5.4%	1.7%	1.2%	6.2%
社員数(人)	30	32	36	52	50	41	41	39	44	52 <del>42</del>
対前年	25.0%	6.7%	12.5%	44.4%	-3.8%	-18.0%	0.0%	-4.9%	12.8%	33.3%
経常利益率	2.0%	2.6%	5.5%	6.2%	2.3%	-17.5%	9.5%	5.8%	9.4%	6.5%
EPS(円)	1,574.06	2,720.13	6,853.98	5,970.68	84.99	-33,552.62	4,191.93	4,782.24	4,517.79	5,141.24
配当性向	20.0%	20.0%	16.4%	24.8%	—	—	—	—	—	—

\*08/5期、09/5期の数値は、決算訂正後の数値を記載しております。

- ◆ “顧客数”は、一過性ビジネスの顧客は減少したが、新規顧客を獲得して3社純増。12/3期は継続サービスの顧客が増加見込み。
- ◆ “年間継続契約額”は、順調に増加を継続しており、長期的な安定に寄与。
- ◆ 社員数は、エージェントとエンジニアチームの増員により増加。
- ◆ 経常利益率は、順調に推移し収益性向上。現水準を継続して、改善を続ける。
- ◆ 配当(配当性向)は、利益を着実に積み重ね、早期復配を目指す。

# 中期経営計画(2011年5月17日公表)



(単位:百万円)

	2011年03月期・実績	2012年03月期・予測	2013年03月期・目標	2014年03月期・目標
売上高	¥1,239	¥1,316	¥1,530	¥1,598
経常利益	¥71	¥85	¥90	¥100
経常利益率	5.8%	6.5%	5.9%	6.3%

# 中期経営計画の現況

フォーカスエリア	当事業年度に 実施予定の施策	現況
現事業領域 (オーダーメイド型サービス等)	過去の実績をベースに堅実にサービス契約の増加を目指す	順調に推移しており、ITサービス売上は前期2Qに対し26.9%増。
現事業領域の周辺 (ソフトウェア開発等)	新サービスを展開	専門部隊の立ち上げ及び受注見込みは順調。来期より業績に寄与。
現事業領域の深化 (ITセキュリティ関連等)	1つの新サービスを立上げ (企業向けITセキュリティ)	いくつかの提携を通じサービスの拡充を図りつつある。情報漏えい対策案件も受注済み。業務提携により、更に受注拡大を目指す。
現事業領域の進化 (スマートフォン/新デバイス等)	次期の展開に備え営業開始 (アプリを数本リリース)	「企業向けスマートフォン・アプリ」を3種類リリース。企業のITインフラとして研究及び販促を続ける。
現事業領域の拡大 (標準化パッケージ等)	景況／震災により中小企業 マーケット展開待ち	景況／震災により中小企業マーケットの好転待ち。標準化されたモジュール・インフラ・モデルを目指す。



# お問い合わせ

## 【 I R 窓 口 】

ストラテジック プランニング サービス

E - mail : [ir@modulat.com](mailto:ir@modulat.com)

Tel : 03-3556-2461

Fax : 03-3556-2462

<http://www.modulat.com/>



### <本資料お取扱い上のご注意>

本資料は当社をご理解いただくために作成されたもので、当社への投資勧誘を目的としておりません。本資料を作成するに当たっては正確性を期すために慎重に行っておりますが、完全性を保証するものではありません。本資料中の情報によって生じた障害や損害については、当社は一切責任を負いません。本資料中の業績予想ならびに将来予測は、本資料作成時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。そのため、事業環境の変化等の様々な要因により、実際の業績は言及または記述されている将来見通しとは異なる結果となることをご承知おきください。